



おきな草



命について考える日

(初めに、犬くんとカピバラさんが細い一本橋で道を譲り合う場面のお話がありました。)

雄踏小学校では、はままついじめアンケートをします。こんなことをされて、つらく悲しい思いをしている子がいたら、アンケートに書いたり、先生にお話ししたりして教えてください。そして、ここにあるようなことを友達にしている子がいたら、やめなさい。誘われても勇気をもって断りなさい。一人一人に色んな考えや方法、ペースがあるし、みんなで生活するためには、時に我慢しなくてはいけないこともあります。怒れること辛いこと、イライラすることはきっとあるでしょう。でも、その時の解決方法が、暴力や人のいやがることで解決しようとするのは間違っています。よく考えて、時に話し合って、犬君とカピバラさんのように、いい方法を見つけていきましょう。

今日6月12日は「命について考える日」です。何年か前のことですが、この日、浜松市の中学生が、友達からいじめられたことを悩み、そのつらく苦しい気持ちがもとで亡くなってしまいました。その子のお父さんやお母さんの、こんな悲しいことが子供たちに二度と起きないようにしてほしいという願いから、この「命について考える日」ができました。なので、道徳や学活などの時間を使って、担任の先生や友達と「命」について考え、いじめを雄踏小から減らしていくためにどうすればいいのかなど、話し合ってください。

運動会の時、応援席にいるみなさんは、友達に「頑張れ」の声援や拍手を、自然にしていました。それは、相手や仲間のことを大切に思う優しい心をもっているということです。

「人がいやがることをしない」

「自分がされていやなことを人にしない」

「考えて正しいことをする」

この3つができれば、雄踏小のいじめは必ず減っていきます。

雄踏小が、みんながにこにこ、わくわく、もりもりできる学校にしたいと、校長先生は強く願っています。みなさんも、まずは自分のクラスをにこにこ、わくわく、もりもりのクラスにするようがんばりましょう。

運動会での御声援ありがとうございました。

5月25日（土）には、スローガン「5色の光 勝利にむかって走りぬけ ～みんなときずなを深めよう～」を合言葉に、気持ちのよい青空のもと、全校児童が集まって運動会を実施しました。徒競走、僥倖、ソーラン節、応援と、子供たちは、それぞれに目標をもって頑張ることができました。協力し合って取り組む中で、クラスの絆の深まりを感じました。また、子供たちの振り返りの言葉の中には、ソーラン節を踊った5・6年生への憧れや、自分もやりたいという言葉もありました。



多くの保護者の皆様より温かい拍手と御声援をいただくことができ、子供たちは一層頑張ることができました。感謝申し上げます。

< 当日のひとこま >



<朝の気合い入れの一コマ>



<開会式での選手宣誓>



<スローガンの後ろには…>



<最高の笑顔が見られました>

※今号は、「命について考えるの日」に合わせて早めに学校便りを送付しております。

次号は、7月24日（水）を予定しております。